

# 第70回全国研究大会統一論題解題

大会実行委員長 杉山 三七男（静岡産業大学）

日本マネジメント学会第70回全国研究大会は、「地域企業の経営戦略とマネジメント」を統一論題に掲げ、11月14日(金)から16日(日)までの三日間の日程で、静岡県の西部にある静岡産業大学磐田キャンパスで開催させていただくことになりました。

浜松市を中心とするこの静岡県の西部地区は、オートバイの生産に代表される製造業の工場が多く集積したところであります。経済の成長とともに、職を求めて多くの人が集まってきました。しかし、この勇ましい話は過去のものかもしれません。景気の低迷や工場の移転などの影響でしょうか、この静岡が人口減少県になってしまったのです。それも、太平洋ベルト地帯においてであります。

そのような状況で、この地区は変化することが求められているように思われます。それでは、どのように生きて行けばよいのか。ここでは、その手掛かりを求めてみようと思っています。部品の製造を得手としてきたこの地区が、その技術を基礎に新たな挑戦をしているのです。プラスチック成形からスポーツ・健康用品製造へ、自動車部品製造から電子部品製造へ。加えて、静岡にある古よりの恵みは農業です。まったく農業に関わりの無かった方が、農産物の商品開発や流通に関わる仕事を生み出してきたのです。

これらの事例は、この地域にある企業の経営戦略とその転換として把握することができましよう。そこで、この点を今回の統一論題とさせていただきます。そして、この第70回の研究大会を象徴する基調講演には、この地区を代表する世界的企業ヤマハ発動機の元社長であられる戸上常司氏に登壇をお願いしました。皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。